



2016年2月28日の設立記念シンポジウムでの記念写真

⑦資格制度

現在、資格認定制度準備委員会で、資格制度の内容を検討しています。

資格制度の目的・骨子・プロセス、対象（研修修了者や臨床経験のある先駆者など）、種類（例えば1種、2種といったもの）、資格授与条件（研修歴や臨床経験を証明するもの、申請方法、登録料など）、更新方法（資格取得から更新までの年月、更新の条件）、等々多岐に渡ります。

2月27日の理事会、総会で原案を提案し、その後の議論を踏まえて、2018年度の総会での制度樹立を目指しています。

熊本地震の対応

2016年4月14日と16日に発生した熊本地震への対応として当会は、九州臨床宗教師会の募金活動を支援した他、現場レベルでの情報共有の支援をしています。

九州臨床宗教師会では、被害が大きかった益城町の避難所でのカフェ・デ・モンク、その後仮設住宅でのカフェ・デ・モンクを定期的に開催しています。

各地の臨床宗教師会

日本臨床宗教師会が設立する以前から、以下のように各地で臨床宗教師会に活動が始まっています。今のところ、日本臨床宗教師会と各地の臨床宗教師会との関係は、「本部・支部」という形ではなく、「協力関係」にあります。

つまり、当会の臨床宗教師倫理綱領を遵守して臨床宗教師として活動するためには、当会（日本臨床宗教師会）と各地の臨床宗教師会の両方に入会していただくことになります。

会員のみなさんの周りに、当会にまだ

入会していない方がいたら、当会への入会をお勧めしてください。入会申込書は、当会のホームページからダウンロードできます。

また、各地の臨床宗教師会では定期的にフォローアップ研修を開催しているほか、独自の勉強会やカフェなども開かれています。連絡先は以下の通りです。facebookでも情報発信されています。当会開設前に始めた「臨床宗教師会」facebookページでも、当会や関連する団体のイベントなどの情報発信をしています。

詳しくは以下のメールで各地の会にお問い合わせください。

北海道東北臨床宗教師会（事務局）

ht.rinshushikai@gmail.com

関東臨床宗教師会（事務局）

kanto.rinsyo.syukyoshi@gmail.com

中部臨床宗教師会（田中至道事務局長）

tanaka.amitabha@gmail.com

関西臨床宗教師会（清水正彦代表）

shimidzu_masahiko@yahoo.co.jp

中国地方臨床宗教師会（梶野統胤代表）

bluefrog@gmail.com

九州臨床宗教師会（事務局）

k.rinsyu@gmail.com

日本臨床宗教師会事務局

〒980-8576 仙台市青葉区川内2-7-1

東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座内

FAX: 022-795-3831

Email: sicj@g-mail.tohoku-university.jp

URL: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/p-religion/sicj/>

日本臨床宗教師会ニュースレター 第1号

会長挨拶

日本臨床宗教師会が発足しました。「臨床宗教師」が結集する団体です。臨床宗教師がどのような存在であるかをこの会が団体として示していくことになります。この会の存在によって臨床宗教師として日本社会に対して顔が見える存在になるということです。

きっかけは2011年3月11日の東日本大震災でした。多くの宗教者が被災地におもむき、人々の力になろうと模索を続けました。宗教者が特定宗教の教を説いたり、儀礼を行ったりするのではなく、被災者ひとりひとりに寄り添い、力になろうとする支援活動が課題となりました。予期せぬ大災害でしたが、阪神淡路大震災以来、災害支援の活動は蓄積されてきており、それぞれに有益な支援活動に取り組みました。

支援活動の一つの柱であるスピリチュアルケアをこれまで以上に自覚的に、そして宗教宗派の枠を超えて進めていくための研修が始められました。東日本大震災の被災地に近い東北大学の実践宗教学寄附講座が臨床宗教師養成の拠点となりました。そこで研修を受け持続的に研修を積んでいこうとする宗教者たちが各自で結束して地域の臨床宗教師会が立ち上がり、全国の臨床宗教師会の形成へと歩みを進めました。

しかし、日本臨床宗教師会の構成員の活動の場はもちろん災害支援だけではありません。現代社会のさまざまな苦の現場で、医療やケアの場において、宗教者によるスピリチュアルケアの機会が広がっており、それぞれに研鑽し経験を積む例が増えていました。終末期医療や緩和医療と並行して、スピリチュアルケアが必要であること、事件・事故等による死者の遺族の方々へのグリーフケアも宗教者にふさわしい活動ができる領域です。

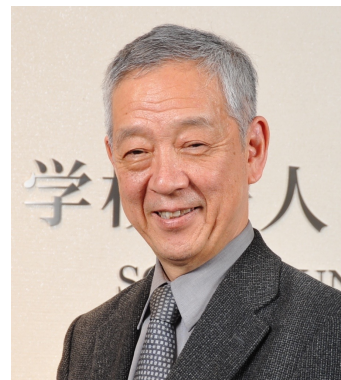
また、自死念慮者・自死遺族、引きこもりの人々、高齢者や貧困家庭やホームレスの人々、外国人や障害者などの孤立しがちな人々へのケアの活動に宗教者が取り組む例も増えてきています。これらも臨床宗教師の活動が求められている場です。このように見渡すと、現代社会のさまざまな苦の現場が、宗教宗派の枠を超えて取り組む宗教者の活動を促しているとも言えるでしょう。

日本社会に臨床宗教師の活動を定着させていくための課題はたくさんあります。この会とは独立にスピリチュアルケアの活動に取り組んできた宗教者は少なくありません。それらの方々からも広く学びながら、協力の場を広げたいと思います。その道のりはなだらかなものではないと予想しています。山あり谷ありの長い道のりでしょうが、日本臨床宗教師会はその名にふさわしい活動を進めていくべく着実に歩んでいきたいと思えます。このニュースレターがそのための情報交換の場として十二分に活用されることを願っています。

2017年1月

日本臨床宗教師会 会長 島蘭 進
(上智大学大学院実践宗教学研究科委員長
・同グリーフケア研究所長)

会長挨拶	p.1
第2回FU研修	p.2
会員総会	p.2
これまでの議論	p.3
熊本地震の対応	p.4
各地の臨床宗教師会	p.4



第2回フォローアップ研修開催

2017年2月26日（日）午後から、2月27日（月）夕方まで仙台で開催されます。

・第1部 公開講演会

26日（日） 12時50分～16時10分
エル・パーク仙台ギャラリーホール
（地下鉄南北線「勾当台公園」駅直結、
仙台三越定善寺通館6階）

・第2部 会員懇親会

26日（日） 17時30分～19時30分
アークホテル仙台青葉通り
（地下鉄東西線「大町西公園」駅から
徒歩3分）

・第3部 会話記録検討会ほか・総会

27日（月） 9時～16時30分
東北大学川内南キャンパス文系総合講義
棟2階（地下鉄東西線「国際センター」駅
または「川内」駅から徒歩5分）

参加費：会員・事前登録 2,500円
会員・当日支払 3,000円
非会員・事前登録 5,000円
（第1部公開講演会は無料）

懇親会 5,000円

詳しくは、同封したチラシをご覧ください。

会員総会開催

フォローアップ研修に合わせて、会員総会を開催します。2月27日（月）15時30分～16時30分を予定しています。

当会の法人格取得、資格制度など、重要な議案が予定されていますので、ぜひご出席ください。

設立からこれまでの理事会での議論

当会は、2016年2月28日に設立され、その後、6月30日、7月31日、9月16日に理事会が開催されています。また、9月の理事会で入会審査のみメールで審議できることになったので、12月6日（から1週間）と12月19日（から1週間）、メール上での倫理理事会が行われました。

これまでの議論の流れを、テーマ別にお知らせいたします。

①役員一覧

役員の交代、新任があります（※印）。

会長 島 蘭 進（上智大学）
副会長 大下大圓（日本スピリチュアルケア
ワーカー協会）

顧問 金田諦應（心の相談室）
鎌田東二（京都大学）
窪寺俊之（聖学院大学）
伊藤文雄（元・ルーテル神学校）
石井研士（國學院大学）
田中雅博（普門院診療所）
中野東禅（曹洞宗）
ワルデマール・キッペス※
（臨床パストラル教育研究センター）

事務局長 谷山洋三（東北大学）

事務局次長 鍋島直樹（龍谷大学）

理事 乾 仁志（高野山大学）
大河内大博（上智大学）
大村哲夫（東北大学）
黒川雅代子（龍谷大学）
小西達也（武蔵野大学）
鈴木岩弓（東北大学）
篠原鋭一（自殺防止ネットワーク風）
沼口 諭（沼口医院）
引田弘道（愛知学院大学）
深川宣暢（龍谷大学）
前田伸子（鶴見大学）
松本峰哲（種智院大学）
北海道東北臨床宗教師会代表者（高橋悦堂）
関東臨床宗教師会代表者（池内龍太郎）※
中部臨床宗教師会代表者（五辻文昭）
関西臨床宗教師会代表者（清水正彦）
中国地方臨床宗教師会代表者（榊野統胤）
九州臨床宗教師会代表者（吉尾天声）
柏木哲夫（淀川キリスト教病院）
高木慶子（上智大学）

監事

②委員会

規約に従って、以下の4つの委員会を設置しました。なお、資格認定委員会を立ち上げる前に資格制度の準備が必要なので、これに替えて「資格認定制度準備委員会」を設置しました。

以下、委員会の活動内容、構成メンバー、メールアドレスです。

(1)資格認定制度準備委員会：（4ページ⑦参照）

顧問：柏木哲夫
委員長：金田諦應
委員：伊藤文雄、W・キッペス、
小西達也、大河内大博
事務局サポート：鍋島直樹、高橋原、

谷山洋三

Email: sicj_shikaku@freeml.com

(2)研究委員会：各機関の養成講座の実態把握、および臨床宗教師の実態把握を目的とする。各養成機関の資料を収集し、様々な問題などについて検討し、来年度は臨床宗教師の活動の実態を把握していく予定。

委員長：鈴木岩弓

委員：引田弘道、乾仁志

事務局サポート：高瀬顕功、井川裕覚

Email: sicj_kenkyu@freeml.com

(3)倫理委員会：倫理綱領、ガイドラインに基づく規約を検討し、各委員や関係機関に公開する。継続教育委員会、資格準備委員会との連携を図り、問題点を深めていく。

委員長：鎌田東二

副委員長：大村哲夫

委員：前田伸子、黒川雅代子

Email: sicj_rinri@freeml.com

(4)継続教育委員会：臨床宗教師へのリサーチ、および各地方会の研修の振り返りを通じ、継続的な教育方法について検討する。

委員長：大下大圓

委員：松本峰哲、清水正彦

事務局サポート：打本弘祐、谷山洋三、池内龍太郎

Email: sicj_kyoiku@freeml.com

③事務局

以下、構成メンバーと事務局のメールアドレス、当会の仮ホームページURLです。

事務局長：谷山洋三（東北大学）

事務局次長：鍋島直樹（龍谷大学）

事務局員：井川裕覚（上智大学）

打本弘祐（龍谷大学）

高瀬顕功（上智大学）

高橋 原（東北大学）

Email: sicj@g-mail.tohoku-university.jp

http://www.sal.tohoku.ac.jp/p-religion/sicj/

④会員数

正会員：123名

准会員：1名

賛助会員：個人1名、団体1名

(2016年12月末現在)

⑤商標登録

まずは、商標登録をするに至った経緯と、その後の動きについて説明します。

-----今年3月下旬に、当会とは交流のない団体で、「臨床宗教師」をタイトルに掲げた研修会を企画しているという情報が入りました。そこで、詳細情報を確認・共有するために、4月7日に当会役員2名が、この企画者と面会しました。

当会からは「非宗教者が臨床宗教師と名乗れるような形をとるのは問題がある」「医療福祉関係者を主たる受講対象とするならば、臨床宗教師になるためのではなく、臨床宗教師について学ぶという体裁にして欲しい」とお伝えしました。その後のやりとりを経て、最終的には、こちらの意を汲んでくれたようで、臨床宗教師について学ぶ講座になりました。-----

さて、今回の一件に伴い、3月末にメール上で役員による緊急対策会議を行いました。その結果、今後同様の事案が生じる可能性を鑑み、「臨床宗教師」を商標登録することになりました。つまり、他団体が商標権を取得してしまい、当会が「臨床宗教師」という名称を使用できなくなるような事態を予防することになります。

3月31日に弁理士に依頼して手続き開始し、11月18日に登録手続きが完了しました。

なお、商標登録の申請ができるのは個人もしくは法人に限られるため、今回の登録に際し、役員の了解を得てとりいそぎ谷山事務局長の個人名義で行いました。

この商標登録に関する議論に付随して、日本臨床宗教師会の法人化の議論があり、6月の理事会で一般社団法人化することになりました。この商標権は、法人化後速やかに当会に譲渡されます。

⑥法人格取得

さきほどの商標登録の議論により、任意団体である日本臨床宗教師会を法人化することになりました。NPO法人か一般社団法人のどちらかという議論を経て、「一般社団法人」を選択することになりました。

この手続きは、現在司法書士に相談中で、2月の総会までには完了する予定です。

任意団体から一般社団法人に移行する際の手続きについても、司法書士に相談しています。